

はばたき

上中学校図書館通信
2021年10月号
学校司書 松石かおる

10月から通常開館となりました。9月は、新しい本がたくさん入りましたが、リクエストのみの貸出でしたので、みなさんに届けることが難しく、スムーズに本が借りられなかったと思います。リクエストが多かった『はたらく細胞 BLACK』は、8巻まで購入しました。やっとみなさんの手にとってもらえる時が来ました。他にもたくさん紹介していますので、どしどし図書館に足を運んでください。

新刊の紹介

分類	書名	著者	内容
3:社会科学	どうしても頑張れない人たち ケーキの切れない非行少年2	宮口幸治	困っている人々を適切な支援につなげるための知識とメソッドを、児童精神科医が説く
	「星野君の二壘打」を読み解く	功刀俊雄/柳澤有吾編	変貌を繰り返す物語、その歴史と深層に迫る
	2040年の未来予測	成毛眞	知っている人だけが悲劇を避けられる
4:自然科学	まんがでわかるみんなの遺伝子の謎	山内豊明/監修	遺伝子の面白さに驚こう！
	図解巣箱のつくり方かけ方	飯田知彦	最も一般的で基本となる小鳥用から農業への貢献が著しいフクロウ用大型巣箱のつくり方かけ方で多くの図表などを入れてわかりやすく解説しています
5:工業	脱炭素時代を生き抜くための「エネルギー」入門	齋藤勝裕	現代社会は、「エネルギー」のおかげで成り立っている
9:文学	月夜とめがね	小川未明+げみ	月の光は、うす青く、この世界を照らしていました。
	ダリウスは今日も生きづらい	アディーブ・コラーム	イラン出身の母と白人の父をもつ、ペルシア系アメリカ人のダリウス。家でも学校でも疎外感を覚える彼は、ははの故郷ヤズドでソフラブという少年と出会い…。
	ときどき旅に出るカフェ	近藤史恵	世界一不幸ではないけれどなんとなく憂鬱…なあなたにそっと寄り添うカフェ、オープン
	吾輩も猫である	赤川次郎/新井素子他	猫好きの作家8名が漱石の「猫」に挑む！愛らしい魅力があふれ出す、究極の猫アンソロジー
	おまじない	西加奈子	思い悩む女性たちにそっと寄り添う、珠玉の短編集
	デミアン	ヘルマン・ヘッセ	ラテン語学校に通う10歳の私、シンクレールは、不良少年ににらまれまいとして言った心にもない嘘によって不幸な事件を招いてしまう。私をその苦境から救ってくれた友人のデミアンは、…。
	リボルバー	原田マハ	生前 ^{カエリ} 顧みられることのなかった孤高の画家たちの、伝説のヴェールを剥がせ！
	自転しながら公転する	山本文緒	結婚、仕事、親の介護、全部やらなきゃダメですか？
	今夜、もし僕が死ななければ	浅原ナオト	どうしてこんな風に生まれてきたんだろう。愛する人への想いに涙あふれる運命の物語

2020年度全国公立高校入試出典作品（その2）			
分類	書名	著者	内容
0:総記	本をどう読むか 幸せになる読書術	岸見一郎	読書には、人を救い幸福にする力がある
1:哲学	論理的思考のコアスキル	波頭亮	論理的思考力を強化するためのプログラム
	考えるレッスン	外山滋比古	深く、柔軟に考え、物事の本質を見抜くために必要なこととは何か？
3:社会科学	自由の思想史 市場とデモクラシーは擁護できるか	猪木武徳	自由は本当に「善きもの」か？
4:自然科学	科学と非科学的 その正体を探る	中屋敷均	何が「真実」で「異端」なのか
	協力と裏切りの生命進化史	市橋伯一	生命と非生命を分かちつものは？
5:工業	プラスチック汚染とは何か	枝廣淳子	レジ袋をやめれば大丈夫と思っていませんか？
7:芸術	美について	今道友信	美の本質を問う
	いちまいの絵 生きているうちに見るべき名画	原田マハ	私を変えた世界を変えたあの絵画
	樺を振る人生 指揮者は時間を彫刻する	佐渡裕	音楽が持つ本質的な力とは一異なる価値観を持つ人々がともに生きる世界を肯定すること
8:言語	同時通訳はやめられない	袖川裕美	「通訳は見た！」異なる言語を行き来することで垣間見える世界や思い
	子どもとことば	岡本夏木	ことば以前のコミュニケーションに注目し、どのようにことばが生み出され、そのことばが子どもの発達をどう方向づけるかを語る
	言葉とは何か	丸山圭三郎	言葉とは何か？根源的で正解のないこの問いに真正面から取り組んだ、もっとも明晰な入門書
	対話のレッスン 日本人のためのコミュニケーション術	平田オリザ	豊富な具体例をもとに、新しいコミュニケーションの在り方を真摯に探る
9:文学	詩を書く なぜ私は詩をつくるか	谷川俊太郎	「つくりたい、という気持は、詩人の情熱なのだ。そして、つくらねばならぬ、という気持は、詩人の広い意味でいって道徳である。」
	知ってる古文の知らない魅力	鈴木健一	共同性と個性を念頭に、有名な古典の冒頭が読み解かれていく
	「古今和歌集」の創造力	鈴木宏子	天才編集者・紀貫之に着眼し歌の配列と〈型〉の構造から古今集のあたらしさを読み解く
	和歌のルール	渡部泰明編	これだけ知れば楽しく読める10の和歌のルールをやさしく説明！
	和歌の不思議	東直子	読者をとりこにする東直子による待望の短歌入門書ができました。
	凜の弦音	我孫子武丸	弓道に一直線の、熱く清々しい少女・凜は、友情、ライバル、そして事件の数々に迷って迷って、ぶつかっていく。
	悲観する力	森博嗣	重大な過ちを繰り返すことへの歯止めは悲観することしかない。「これでは駄目かもしれない」と思ったなら次にどう対策するか。豊かな社会ゆえの楽観を排し、有効な悲観の技術を伝授する。
	六花落々	西條奈加	西條奈加の笑って、ほろり傑作人情時代小説
	出会いなおし	森絵都	気まずさも、衝突も、痛みも超えて人は何度も出会いなおせる。
	颯風の王	河崎秋子	北の大地で150年。馬と生きた家族の物語
	日輪 春は馬車に乗って 他8篇	横光利一	新感覚派の作家として次々と新しい小説形式に挑戦したが、戦争によって不幸にも挫折した。だが横光の試みは今なお課題たりうる多くのものを含んでいる。
	泣ける！ミステリー 父と子の物語	冲方丁他4名	「父」にまつわる5つの謎にあなたは必ず涙する！
東京會館とわたし 上旧館	辻村深月	辻村深月が、東京で自宅の次に好きな場所の物語	
東京會館とわたし 下新館			
希望はいつも当たり前で語られる	白井明大	平凡な言葉が、最高の贈り物に変わる瞬間がある。	
考えの整頓	佐藤雅彦	混沌とした日々の中できらめく、気付きと視察。現代の考える人佐藤雅彦による面白くて鋭い考察集	
部長会議はじまります	吉野万里子	12人の中学生の視点から語られる胸キュン青春小説	

分類	書名	著者	内容
4:自然科学	はたらく細胞BLACK 1～8	原田重光	今こそ考える、「働く」と「生きる」。
	科学用語図鑑	水谷淳	モヤモヤしていたあの言葉を、誰かに説明してみたい。
	自分のこころとうまく付き合う方法	アリス・ジェームズ/ルーイ・ストウェル	10代のメンタルを救う”世界標準”のバイブル爆誕！
	ビジュアル図鑑 脳のしくみがわかる本	加藤俊徳監修	気になる「からだ・感情・行動」とのつながり
6:産業	ぼくとねこのすれちがい日記	北澤平祐	人気イラストレーターの実話からうまれた、せつなくあたたかいねこの絵本
9:文学	断片的なものの社会学	岸政彦	人の語りを聞くということは、ある人生のなかに入っていくということ
	大人は泣かないと思っていた	寺地はるな	傷ついた大人たちを優しく包む、始まりの物語
	今日のハチミツ、あしたの私	寺地はるな	どこでも、何度でも、人はやり直せるし、変わっていきける。そう思える一冊です。
	青の数学	王城夕紀	ひたむきな想いを、身体にくすぶる熱を、数学へとぶつける少年少女たちを描く青春小説
	橋の上の子どもたち	パドマ・ヴェンカトラマ作/田中奈津子訳	父親の暴力、それを受け入れる母。そんな家族から逃れるために、障害を持つ姉とともに家を出た11歳の少女・ヴィジ。ホームレスとして生きのびるため、知恵と友情で道を開いていく。

オススメの本



『出合いなおし』 森 絵都 著

出会い、別れ、再会し、また別れ。過ぎていく時間の中で、再び「出合いなおし」していく人々。人生の大切な場面が詰まった6つの物語。ひとは何度でも出合いなおすことができる。たとえ進む道が違ったとしても、疎遠になったことに理由がなかったとしても。読んでいて優しい気持ちになれる短編集。



『2040年の未来予測』 成毛 眞 著

「今日」には、これから起こることの萌芽(物事が起ころうとする兆し)がある。現在を見つめれば、未来の形をつむことができる。20年後、あなたは何歳ですか。ひとつ確実なことがある。それは、人間は必ず歳をとるということだ。iPhone が発売されたのは、たった 13 年前だった。現在、スマートフォンがない世界なんて考えられない。この本は、あらゆるデータから導き出されるありのままの未来を書き、未来を考える力をつけてくれる。

分類	書名	著者	内容
1:哲学	1%の努力	ひろゆき [西村博之]	インターネット第一世代が語る人生論の決定版
	スタンフォード行動デザイン研究所の自分を変える方法 習慣超大	BJ・フォッグ著/須川綾子訳	人間の「全行動」を決める原理がわかった！
3:社会科学	みんなに好かれなくていい	和田秀樹	「友だちが多いほうが幸せ」は本当か
	他者の靴を履く	ブレイディ・みかこ	多様性の時代のカオスを生き抜くための本
4:自然科学	絵でわかる進化のしくみ 種の誕生と消滅	山田俊弘	生物の多様さを生む進化のしくみを図解
	にっぽんツバメ便り ツバメが来た日	宮本桂写真/ポンプラポ編集	いちばん身近な渡り鳥ツバメの世界がさらに近く、もっと愛おしくなる！
	マンガでわかる！認知症の人が見ている世界	遠藤英俊監修/川畑智著	認知症の「なぜ？」「どうして？」が解決！
7:芸術	ぼく モグラ キツネ 馬	チャーリー・マッケジー著/川村元気訳	世界中で100万人の心をつかんだ本
8:言語	日本語とにらめっこ 見えないぼくの学習奮闘記	モハメド・オマル・アブディン著/河路由佳聞き手・構成	スーダンからやってきた全盲の青年は、どうやって日本語を身につけたのか
9:文学	天国からはじまる物語	ガブリエル・ゼヴィン著/堀川志野舞訳	15歳で交通事故にあい、死んでしまったリズ。彼女がたどり着いた先は、時間がどんどんさかのぼる不思議な世界だった…。
	少年Nのいない世界2,3,5	石川宏千花	異世界に飛ばされた7人の「居場所」を見つける物語
	忘れられた巨人	カズオ・イシグロ著/土屋政雄訳	遠い地で暮らす息子に会うため、奇妙な霧に覆われた世界をさまよう老夫婦。旅する二人を待つものとは…。
	山月記	中島敦+ねこ助	小説としても画集としても楽しめる魅惑の1冊
	岬のマヨイガ	柏葉幸子	カッパ、狛犬、座敷童子、そしてマヨイガ。おばあちゃんと不思議なものたちが、その土地を愛して、生きていくことを教えてくれた。
	彼岸花が咲く島	李琴峰	芥川賞受賞作 流れ着いた島では〈ニホン語〉と〈女語〉、2つの言語が話されていたー
	貝に続く場所にて	石沢麻依	芥川賞受賞作 コロナ禍が影を落とす異国の街に、9年前の光景が重なり合う。静かな祈りをこめて描く鎮魂の物語

『ぼく モグラ キツネ 馬』 チャーリー・マッケジー 著 川村元気 訳

人間の“ぼく”が、“モグラ”、“キツネ”、“馬”と順番に出会い、旅の仲間を増やしながら、どこへ行くでもない旅をするお話。“ぼく”が生きていく中で悩んでいることを彼らに相談し、みんなで会話をしながら旅を続けていく。
“いままでにあなたがいったなかで、いちばんゆうかんなことばは？”
ぼくがたずねると、馬はこたえた。“たすけて”
“いちばん強かったのはいつ？”“弱さをみせることができたとき”



